

令和3年度大分県学力定着状況調査結果のポイント(中学校)

国語

知識	活用
51.8(-1.2)	51.1(-1.9)

※()内は昨年度比

■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

□ 課題と改善

●資料中の情報を、自分の伝えたいことの根拠として用いて、分かりやすく書くことに課題がある。

- [知識及び技能](2)イの学習との関連を図ること。(※情報の扱い方「情報の整理」)
- 資料中の情報が、自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかを検討する場面を設定するとともに、書いた文章を読み合い交流する活動を通して、書く力を身に付けさせることが必要である。

社会

知識	活用
51.3(-1.5)	50.3(-1.0)

※()内は昨年度比

■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点で全国値を上回っている。

□ 課題と改善

●複数の資料から読み取った情報を関連付けて考察すること、それを表現することに課題がある。

- 平素から資料を読み取ったりそれを関連付けて考察したりする活動や、その結果を、根拠をはっきりさせて表現させる活動を行う。その際、資料と資料の関連付けも意識させることが必要である。

数学

知識	活用
51.4(-2.0)	50.6(-0.9)

※()内は昨年度比

■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

□ 課題と改善

●事柄を調べる方法や事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

- 生徒に「数学的な表現を用いて説明する力」を身に付けさせるためには、日頃の授業の中で、『説明の基本形』を利用して説明させるなどして、論理的な説明の組み立てに慣れさせることが必要である。

『説明の基本形(例)』

- ①考え方(根拠)を示し方針をはっきりさせる。
- ②取り出した情報を整理し、計算等を行う。
- ③答えにつながる計算や説明を行う。
- ④答え(結論)を導き出す。

※①～④に基づいた説明ができるように発達段階に応じた指導を行うことが大切である。
※説明を聞きながら、他者の足りない点(例えば①又は②)に気付くようにする。

理科

知識	活用
51.2(0)	50.6(+0.1)

※()内は昨年度比

■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

□ 課題と改善

●自然の事物・現象に対する理解、観察・実験等の基本的な技能の習得等に課題がある。

- 科学的に探究する学習活動を充実させ、探究の過程を通して、資質・能力を育成する。探究のために必要な観察・実験等の基本的な技能を確実に身に付けさせることが必要である。

英語

知識	活用
50.5(-1.1)	50.2(-1.1)

※()内は昨年度比

■ 結果概況

●知識・活用ともに偏差値50を上回り、全観点・全領域で全国値を上回っている。

□ 課題と改善

●聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。

- 「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、目的や状況、場面などの設定を工夫しながら、話し手がどのような人で、何を求めているのか、この場面でどのような応答がふさわしいのかを考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが必要である。